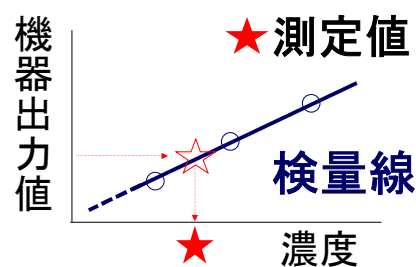


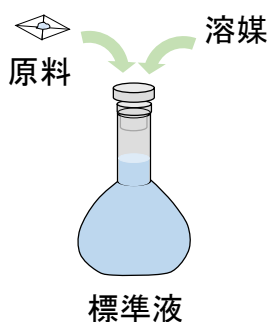
JCSS標準物質を使用するメリット

測定値の信頼性には
検量線の精確さが大きく影響します

検量線を作成するために使用する
標準物質の濃度が精確であることが重要です



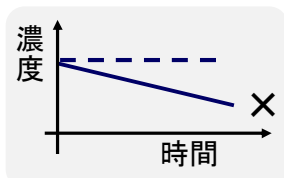
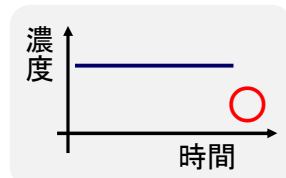
自分で調製する場合



- ☐ 使用器具は清浄か？
- ☐ 原料の純度は？
- ☐ 不純物の影響は？
- ☐ 濃度の安定性は？
- ☐ トレーサビリティは？
- ☐ 不確かさは？

①器具、試薬の評価

②経時変化を起こさない保存方法の検討



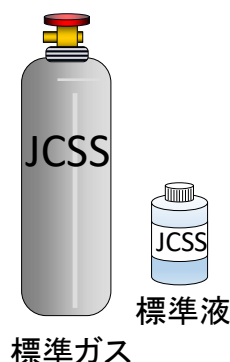
③標準液の調製作業

④トレーサビリティの確保

⑤不確かさの算出

信頼性を確保するために
様々な確認が必要

JCSS標準物質



- ☒ 使用器具は清浄か？
- ☒ 原料の純度は？
- ☒ 不純物の影響は？
- ☒ 濃度の安定性は？
- ☒ トレーサビリティは？
- ☒ 不確かさは？

全て確認済み

- ・国際単位系(SI)にトレーサブル
- ・不確かさが評価されている

「JCSSロゴマーク入り証明書」
に記載された濃度、不確かさを
そのまま使用可能

手間をかけずに
測定値の信頼性を確保

信頼性の高い結果を得るために
濃度が精確な**JCSS標準物質***を使用しましょう!!

*無機及び有機物質の標準液や標準ガスを幅広く展開(現在140種類)